

佐用町ハザードマップ

～ 全域版

地図の見方

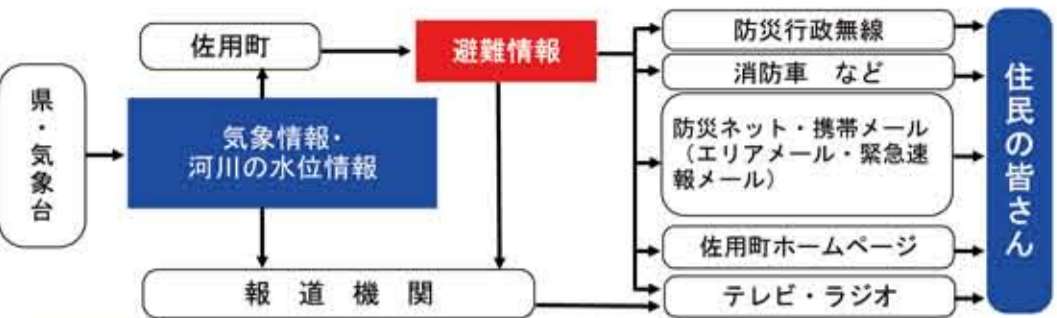
記号	名称	記号	名称	記号	名称
	ヘリポート		避難場所		土砂災害警戒区域(土石流)
	雨量観測所		水位観測所		土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	医療機関		佐用町役場		がけ崩れ危険箇所
	消防本部		支所・出張所		山腹崩れ危険箇所
	佐用警察署		要援護者施設		地すべり危険箇所
	駐在所		幼稚園		監視カメラ

実際に浸水した区域を表示 (平成21年台風9号災害など)

●河川のはん濫は、おおむね100年に1回程度起こりうる大雨を想定しています。
 ●地図に示した「浸水想定区域」「土砂災害警戒区域」以外の場所でも状況によっては浸水したり、土砂災害が発生する場合もありますので注意しましょう。
 ●日ごろから大雨による浸水や土砂災害が発生する恐れのある場所などを把握しておき、自宅から避難場所までの経路について確認しておきましょう。

避難に関する情報を知ろう

災害時における情報の伝わり方
 町は、住民の皆さんに避難が必要と判断した場合、その緊急度に応じた避難情報を発表します。
 災害における情報の伝達方法を知り、いざという時に適切な行動がとれるようにしましょう。



避難情報 と 取るべき行動

情報	避難準備情報	避難勧告	避難指示
避難準備情報	避難準備情報	避難勧告	避難指示
避難準備情報	避難準備情報	避難勧告	避難指示
避難準備情報	避難準備情報	避難勧告	避難指示

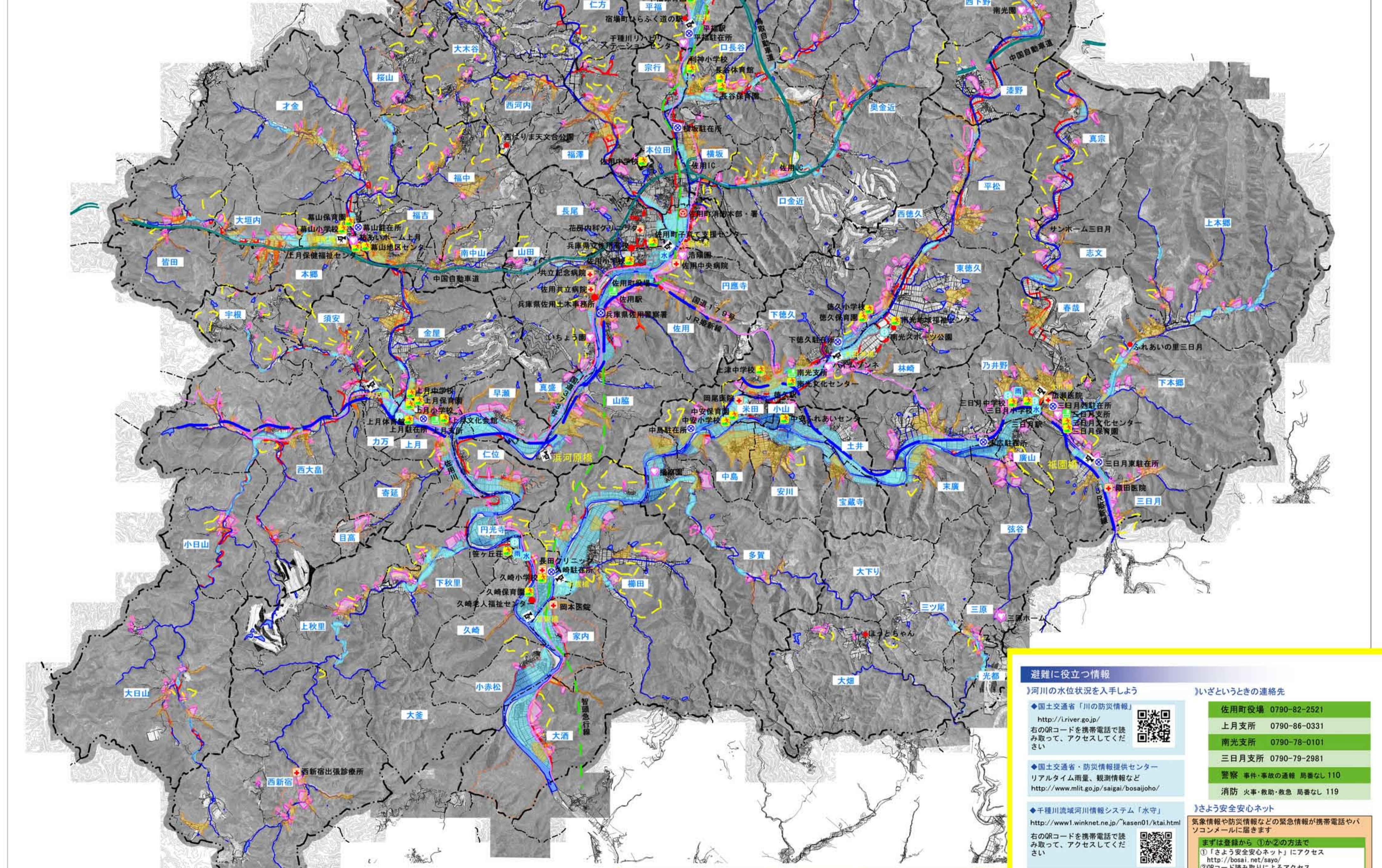
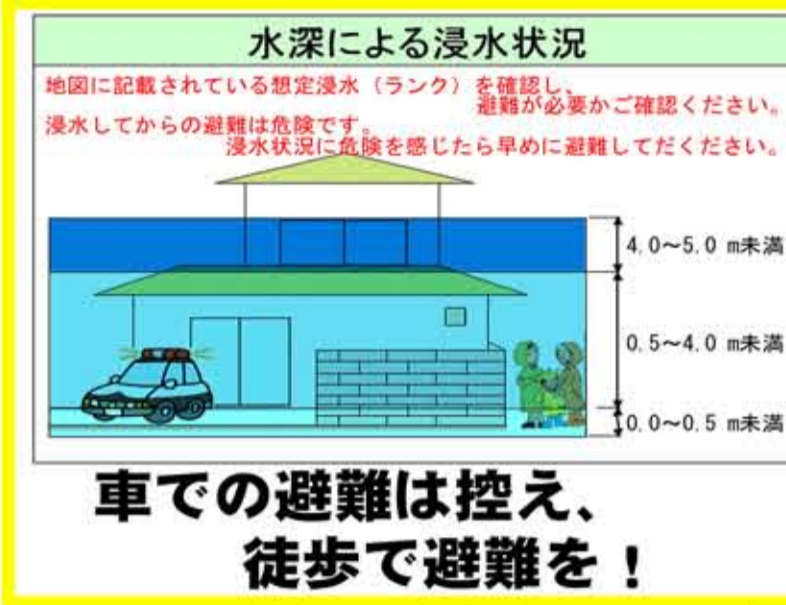
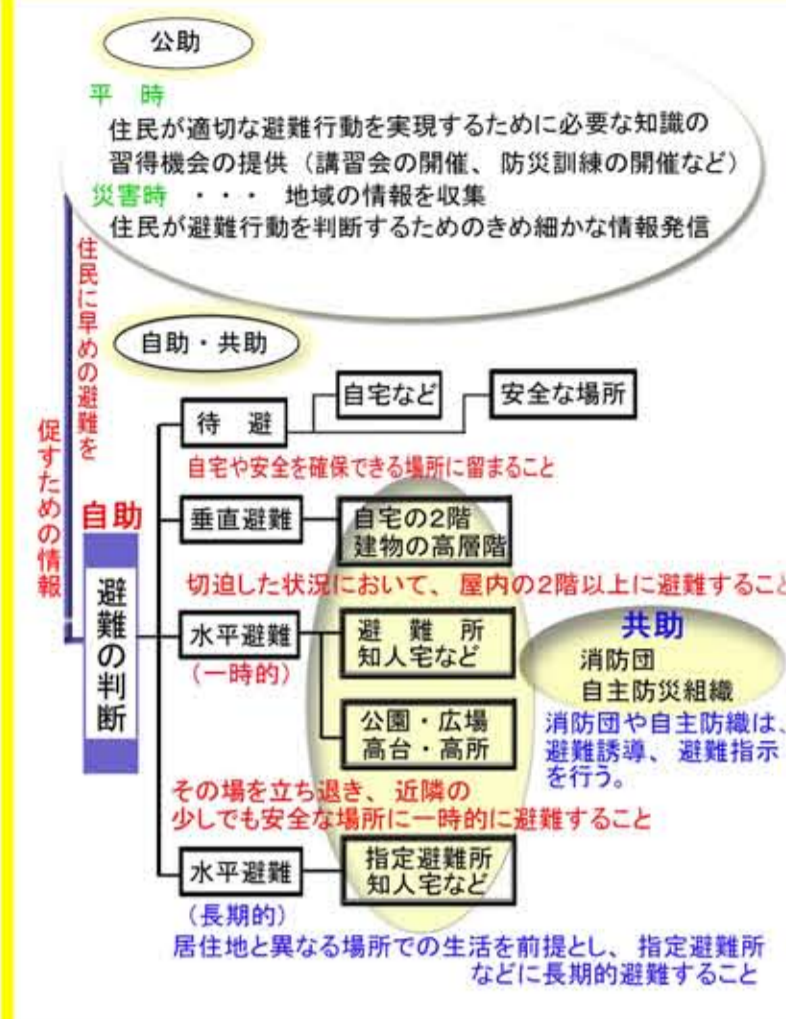
※河川水位予測や降雨予測で避難勧告等を発令した場合、空振りが発生することはあります。夕方から夜間に向けての時間帯などは、降雨の予想等によっては、基準水位到達前であっても、発令することがあります。
 ※切迫した状況においては、屋内の2階以上に避難することもあります。
 ※避難勧告等は、河川状況や地域の状況などから総合的に判断して発令しますが、どのような状況でも必ず発令されるものではありませんので、自主的に判断して避難所などの安全な場所へ避難してください。

雨の強さと降り方

時間雨量	降り方	被害
1時間雨量 10～20 mm未満	やや強い雨 ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。
1時間雨量 20～30 mm未満	強い雨 どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれる。
1時間雨量 30～50 mm未満	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようになる。傘をさしてもぬれる。
1時間雨量 50～80 mm未満	非常に激しい雨 激しくなるような降り方(ゴーストと降り続く)	マンホールから水が噴き出す。大規模な災害が発生する恐れが強くなる。傘はまったく役に立たなくなる。
1時間雨量 80mm～	猛烈な雨 息苦しくなるような降り方(ゴーストと降り続く)	大規模な災害が発生する恐れが強くなる。傘はまったく役に立たなくなる。

注意報・警報の発表基準

大雨注意報・洪水注意報	大雨警報・洪水警報	土砂災害警戒情報
1時間雨量 30mm以上	1時間雨量 50mm以上	大雨警報発表後、土砂災害発生危険が高まった時



避難に役立つ情報

河川の水位状況を手入力しよう

国土交通省「川の防災情報」
<http://river.go.jp/>
 右のQRコードを携帯電話で読み取って、アクセスしてください

国土交通省・防災情報提供センター
 リアルタイム雨量、観測情報など
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

千種川流域河川情報システム「水守」
<http://www1.winknet.ne.jp/kasen01/ktai.html>
 右のQRコードを携帯電話で読み取って、アクセスしてください

気象庁
 防災気象情報、天気予報、天気図など
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

いざというときの連絡先

佐用町役場	0790-82-2521
上月支所	0790-86-0331
南光支所	0790-78-0101
三日月支所	0790-79-2981
警察 事件・事故の連絡	局番なし110
消防 火事・救助・救急	局番なし119

さよう安全安心ネット

気象情報や防災情報などの緊急情報が携帯電話やパソコンメールに届きます

まずは登録から①②の方法で
 ①「さよう安全安心ネット」にアクセス
<http://bosai.net/say/>
 ②QRコード読み取りによるアクセス

メールで届く情報
 緊急情報メール
 大雨洪水警報
 地震情報
 避難情報など

土砂災害警戒区域の見方

土石流: 大雨により谷底にたまった土砂や、山腹から流れだした土砂が、水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下りる現象

がけ崩れ: 大雨で地面にしみ込んだ雨水により、急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象

地すべり: 斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象

こんな前兆があったら、早めの避難

がけ崩れ
 ●がけからの水が湧き出ている
 ●がけに亀裂が入る
 ●小石がバラバラ落ちてくる

地すべり
 ●地面にひび割れができる
 ●沢や井戸の水が濁る
 ●斜面から水が吹き出す

土石流
 ●山鳴りや、腐った土の臭いがする
 ●急に川の流れがにごり、流木が流れる
 ●雨が降り続けているのに、川の水位が下がる

災害用伝言ダイヤル

地震など大規模災害発生時は、電話がつながりにくい状況が数日続きます。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。これは、「声の伝言板」(安否確認)の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生(確認)をすることができます。

使い方
 「171」をダイヤルし、音声ガイダンス(案内)にしたがって、録音・再生してください
 伝言を録音する場合
 171+1+自分の電話番号(市外局番から) 171+2+通話したい人の電話番号(市外局番から)

災害用伝言板
 大災害発生時、携帯電話「災害用伝言板」メニューから、文字による安否確認の登録・確認サービスが利用できます。登録されたメッセージは、インターネット接続可能な携帯電話やパソコンから確認できます。